

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 新川宗平
 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,991	35.7	335	288.1	307	340.4	129	—
28年3月期第2四半期	1,467	△28.6	86	△47.5	69	△59.1	△19	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 107百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	25.91	25.89
28年3月期第2四半期	△3.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	3,472	2,475	70.3	486.75
28年3月期	3,182	2,372	73.7	469.50

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 2,442百万円 28年3月期 2,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,100	△15.9	179	△57.9	180	△54.2	131	△39.9

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	5,076,100 株	28年3月期	5,057,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	58,000 株	28年3月期	58,000 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	5,013,346 株	28年3月期2Q	4,973,300 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな景気の回復基調が続いているものの、中国経済をはじめとする海外経済の減速や個人消費の停滞、英国のEU離脱問題等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが所属するゲーム業界におきましては、9月に国内最大のゲームイベントである『東京ゲームショウ2016』が開催され、会期4日間の総来場者数、出展企業・団体数は共に歴代最多となりました。とりわけ、今年から新設されたVRコーナーは国内外から注目を集めました。

コンシューマーゲーム業界におきましては、PlayStation VRの発売日を10月に控えて、VR対応タイトルの発売が続々と発表されました。また、『東京ゲームショウ2016』含め各地で体験会が開催されるなど、PlayStation VRの発売に向けた動きが活発化しております。

オンラインゲーム業界におきましては、ユーザーの位置情報を利用したスマートフォン向けアプリが開発・配信され、盛り上がりを見せております。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、全11タイトルを発売いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,991,956千円(前年同期比35.7%増)、営業利益335,840千円(前年同期比288.1%増)、経常利益307,847千円(前年同期比340.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益129,875千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失19,839千円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外合わせて全11タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『ルフランの地下迷宮と魔女ノ旅団』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『真 流行り神2』(PlayStation 3、PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『世界一長い5分間』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)等の5タイトルを発売いたしました。

海外市場では、『Odin Sphere Leifthrasir』(邦題：『オーディンスフィア レイヴスラシル』PlayStation 3、PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Grand Kingdom』(邦題：『グランキングダム』PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『PSYCHO-PASS: Mandatory Happiness』(邦題：『サイコパス: 選択なき幸福』PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Criminal Girls 2: Party Favors』(邦題：『クリミナルガールズ2』PlayStation Vita専用ゲームソフト)等の6タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、コミックマーケットにて、他社とコラボレーションした商品の特典として配布する等、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高1,281,097千円、営業利益245,824千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Networkを通じてパッケージソフトのダウンロード販売及びダウンロードコンテンツ、カスタムテーマの配信を行ってまいりました。またSteamを通じて、『魔界戦記ディスガイア』『ファントム・ブレイブ』といった、当社タイトルの配信を行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高597,779千円、営業利益207,073千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、『魔界戦記ディスガイア』及び『流行り神』シリーズのキャラクターと他社商品のコラボレーションを行う等、ライセンス提供を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高50,180千円、営業利益31,719千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されている『うたの☆プリンスさまっ♪Repeat LOVE』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱うカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高62,898千円、営業利益1,746千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,472,878千円となり、前連結会計年度末に比べ290,432千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末に比べ、67,120千円の増加)、有価証券の減少(前連結会計年度末に比べ、53,329千円の減少)、現金及び預金の減少(前連結会計年度末に比べ、47,389千円の減少)、仕掛品の減少(前連結会計年度末に比べ、30,269千円の減少)によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ358,865千円の増加)によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は997,717千円となり、前連結会計年度末に比べ188,116千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ110,000千円の減少)、賞与引当金の減少(前連結会計年度末に比べ78,593千円の減少)、売上値引引当金の減少(前連結会計年度末に比べ39,061千円の減少)によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ398,202千円の増加)、退職給付に係る負債の増加(前連結会計年度末に比べ4,614千円の増加)によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,475,160千円となり、前連結会計年度末に比べ102,316千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加(前連結会計年度末に比べ114,878千円の増加)、その他有価証券評価差額金の増加(前連結会計年度末に比べ86,507千円の増加)、為替換算調整勘定の減少(前連結会計年度末に比べ109,239千円の減少)によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,049,604千円となり、前連結会計年度末に比べ49,026千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は133,564千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益244,063千円、為替差損110,116千円、法人税等の支払額99,053千円、売上債権の増加額86,784千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は379,067千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出430,201千円、投資有価証券の売却及び償還による収入59,412千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は300,042千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入421,714千円、短期借入金の純減額110,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績見通しにつきましては、第3四半期連結会計期間以降の商品の販売動向等、いまだ不確定な要素を含んでおります。従いまして、平成29年3月期第1四半期決算短信(平成28年8月5日付公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,096,993	1,049,604
受取手形及び売掛金	194,397	261,517
有価証券	53,329	—
商品及び製品	49,927	59,187
仕掛品	321,734	291,464
繰延税金資産	65,579	58,851
その他	119,930	128,480
貸倒引当金	△2,300	△2,300
流動資産合計	1,899,591	1,846,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	278,683	273,109
機械装置及び運搬具(純額)	2,333	1,690
土地	214,495	214,495
その他(純額)	32,497	30,278
有形固定資産合計	528,010	519,573
無形固定資産	26,840	21,700
投資その他の資産		
投資有価証券	701,354	1,060,220
その他	26,649	24,578
投資その他の資産合計	728,003	1,084,798
固定資産合計	1,282,854	1,626,072
資産合計	3,182,445	3,472,878

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,222	122,745
短期借入金	110,000	—
未払金	112,186	85,602
未払法人税等	45,292	59,447
賞与引当金	122,462	43,868
売上値引引当金	197,366	158,305
その他	66,798	84,982
流動負債合計	767,328	554,951
固定負債		
退職給付に係る負債	21,472	26,087
長期借入金	—	398,202
その他	20,799	18,475
固定負債合計	42,272	442,765
負債合計	809,601	997,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,177	525,840
資本剰余金	514,177	515,840
利益剰余金	1,282,318	1,397,196
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,303,802	2,422,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,121	23,386
為替換算調整勘定	106,402	△2,837
その他の包括利益累計額合計	43,281	20,549
新株予約権	25,760	32,605
純資産合計	2,372,844	2,475,160
負債純資産合計	3,182,445	3,472,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,467,582	1,991,956
売上原価	737,140	1,008,186
売上総利益	730,441	983,769
販売費及び一般管理費	643,912	647,929
営業利益	86,529	335,840
営業外収益		
受取利息	12,559	20,607
受取配当金	3,232	87
補助金収入	—	4,674
その他	976	3,467
営業外収益合計	16,768	28,836
営業外費用		
支払利息	378	1,717
為替差損	32,176	53,725
投資事業組合運用損	593	454
その他	247	931
営業外費用合計	33,396	56,828
経常利益	69,901	307,847
特別利益		
投資有価証券売却益	331	—
投資有価証券償還益	—	10,643
特別利益合計	331	10,643
特別損失		
投資有価証券売却損	17,977	—
投資有価証券評価損	—	74,427
特別損失合計	17,977	74,427
税金等調整前四半期純利益	52,254	244,063
法人税等	72,094	114,188
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,839	129,875
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,839	129,875

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,839	129,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,767	86,507
為替換算調整勘定	389	△109,239
その他の包括利益合計	△25,377	△22,731
四半期包括利益	△45,217	107,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,217	107,143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,254	244,063
減価償却費	18,408	19,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47,415	△73,038
売上値引引当金の増減額(△は減少)	22,389	△19,800
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,083	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,823	4,614
受取利息及び受取配当金	△15,791	△20,694
支払利息	378	1,717
投資事業組合運用損益(△は益)	593	454
為替差損益(△は益)	△5,587	110,116
投資有価証券売却損益(△は益)	17,646	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	74,427
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△10,643
売上債権の増減額(△は増加)	△147,493	△86,784
たな卸資産の増減額(△は増加)	△210,814	15,155
仕入債務の増減額(△は減少)	58,607	23,588
その他	△95,275	△62,037
小計	△349,190	220,638
利息及び配当金の受取額	12,793	13,703
利息の支払額	△393	△1,723
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	26,313	△99,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	△310,476	133,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の回収による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△5,119	△6,295
無形固定資産の取得による支出	△3,771	△2,983
投資有価証券の取得による支出	△455,876	△430,201
投資有価証券の売却及び償還による収入	49,931	59,412
その他	△702	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△415,539	△379,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000	△110,000
長期借入れによる収入	—	421,714
株式の発行による収入	—	3,325
配当金の支払額	△9,946	△14,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,053	300,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	801	△103,565
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△665,160	△49,026
現金及び現金同等物の期首残高	1,243,044	1,098,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	577,883	1,049,604

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	979,392	395,599	32,368	60,221	1,467,582	—	1,467,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	979,392	395,599	32,368	60,221	1,467,582	—	1,467,582
セグメント利益又はセグメント損失(△)	40,156	185,324	25,917	△4,228	247,169	(160,640)	86,529

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額160,640千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,281,097	597,779	50,180	62,898	1,991,956	—	1,991,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,281,097	597,779	50,180	62,898	1,991,956	—	1,991,956
セグメント利益又はセグメント損失(△)	245,824	207,073	31,719	1,746	486,365	(150,525)	335,840

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額150,525千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。